

2016年度 福岡デザイン専門学校
第2回「学校関係者評価委員会」報告書

日時 2017年3月24日(金) 17:00~19:30

会場 福岡デザイン専門学校 1Fギャラリー

出席者 佐藤 俊郎(委員長)・家藤 康德(委員)・品川 武士(委員)・松本 千里(委員)
田代 順三(委員)・安部 浩一朗(委員)・中山 太郎(委員)・光成 貴博(委員)

欠席者 明石 理紗(委員)

オブザーバー(学校) 香坂 雅弘・伊場 芳朗・大久保 映介・中嶋 尚孝・瀧井 信一郎

開会 挨拶(香坂理事長)

福岡デザイン専門学校現状について(学生募集他)

職業実践専門課程について クリエイティブデザイン科を2017年度廃止する
平成28年度認定後、全国で902校2,773学科(福岡県59校194学科)

委員 紹介 別紙、委員名簿

佐藤委員長 挨拶

議題：福岡デザイン専門学校「2016年度自己評価表」に関する審議・評価

※資料：2016年度学校自己評価表

学校より自己評価表作成の概要説明

評価により、今後の課題が見てきた。対応を行っていく。(香坂理事長)

※下記、基準1から基準11までの、大項目単位の精査・再評価を行った。

- 1.教育理念・目的・育成人材像等
- 2.学校運営
- 3.教育活動
- 4.学修成果
- 5.学生支援
- 6.教育環境
- 7.学生の受入れ募集
- 8.財務
- 9.法令等の遵守
- 10.社会貢献・地域貢献
- 11.国際交流

大項目ごとに確認を行いましたが、別紙【2016年度学校自己評価報告書】の通りで、特に問題になる項目はなく、評価を終了した。

前年からの評価変更になった項目は、説明と審議で、妥当と判断された。

委員の意見

教育活動・・・卒業後実践的に プロフェッショナルへ
今後の教室の運用・・・施設運用プロジェクトを立ち上げ、教育環境の根本的見直しを総合的に検討します。

閉会 挨拶 (伊場校長)

2017年度も引続き、学校関係者評価委員をお願いしたい。

2016年度「第2回学校関係者評価委員会」総括

2016年3月25日に福岡デザイン専門学校で学校関係者評価委員会が開催されました。その委員会の委員長として評価委員会の総括を記録します。

2016年度の福岡デザイン専門学校（以下FDS）の学校関係者評価委員会は、2016年12月6日に、学校の現状を踏まえた議論と評価をおこない、2017年3月24日の2回目は、学校自己評価表をもとに、より詳細な内容について審議を行った。

FDSにおいては、2016年2月に総合デザイン科が「職業実践専門課程」の認定を受け、より、実践的で高度なデザイン教育を目指して、誠意努力を重ねている。さらに、今後、文部科学省が設置を目指す「職業実践大学校」への転換も視野にいれながら専門学校としての評価を高めるべく改善を行っている。

カリキュラムにおいては、従来からの高い評価のデザイン教育に加え、特に大阪芸術大学との併修制度において、一定の効果を上げている。また、これまで行われてこなかった教職員の人事評価制度を導入し、教職員の質の向上を目指している点は評価される。同時に、学生数の増加、修学年の複数化により、教育環境の悪化（教室不足など）が懸念され、早急な対応が望まれる。

財務に関しては、新学年制にともなう学生数の増加で、財務状況も改善されているが、より安定した財務基盤を確立すべく努力が必要である。

全般的に、FDSのデザイン教育に対する評価は高く、財務基盤も改善されつつあるが、長期に渡る将来的ビジョンを考えるに、現状を超える新しいデザイン教育分野や、FDSそのものの立地や教育環境を考える時期に来ているのではないかと思われる。

学校関係者評価委員会

委員長 佐藤俊郎

以上